

大谷學報

第五十三卷 第一号

昭和四十八年六月三十日発行

『歎異抄』の「大切ノ証文」について

..... 栗原 行信 (1)

図書館における人文学的資料の役割……荷葉 堅正 (13)

——バトラーの論攷の意味するもの——

生活行動論……河村 雷雨 (26)

——組織行動を中心として——

唱導源流小考……安東 大隆 (39)

彙 報…… (55)

昭和四十七年度卒業論文題目一覧…… (57)

萩原雲来訳註

「和訳称友俱舎論疏一」(界品)の改訂試訳

..... 舟橋 一哉 (1)

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第二十四集

源空の浄土開宗と門下の分流……………栗原 行信

『イエスの御名を称えることに

ついて』……………坂東 性純

——キリスト教と仏教の称名——

時間についての存在論的考察……………西井 元昭

——フッサール及びハイデッガー
を経たサルトルの時間論——

円測・解深密経疏の散逸部分の
漢文譯……………稲葉 正就

大谷大学研究年報 第二十五集

『有明集』以後……………仲野 良一

——その思念についての序章——

華嚴経性起品の研究……………鍵主 良敬

樂邦文類と親鸞教學……………大門 照忍

中国の教育改革……………大竹 鑑

——その背景と展望——

中世における地方社寺の勸進……………佐々木孝正

——近江江北の社寺資料による——

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

“The Important Testimony” in the *Tannishō*
..... *Gyōshin Kurihara* (1)

The Library's Role in Providing Materials for
Studies in the Humanities
——Meanings Suggested by Pierce Butler——..... *Kenshō Hasuba* (13)

Human Behavior in Various Life-Patterns
——With special reference to Organizational Behavior——
..... *Rain Kawamura* (26)

Thoughts on the Origin of the Practice of Preaching
..... *Dairyū Andō* (39)

Revisions to Unrai Wogihara's Japanese Translation of
Yaśomitra's *Abhidharmakośavyākhyā* (I),
Chapter on *dhātu*..... *Issai Funahashi* (1)

Miscellany

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要な事業

第四条 本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学部のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

会務を統理する。

第七条 委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け本会主催の会合に出席することができる。

第九条 会員の会費は年額金壹千五百円とする。

第一〇条 本会の経費は会費をもってこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第十二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 この規程は昭和四十八年四月

一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員

大屋 憲一 北西 弘

雲井 昭善 栗原 行信

坂本 弘 佐々木教悟

高橋 憲昭 仲野 良一

幡谷 明 山本 唯一

昭和四十八年六月三十日発行

編集兼 大谷学会

発行者 柏 原 祐 泉

印刷者 西 村 七 兵 衛

京都市北区小山上總町

大谷大学内

発行所 大 谷 学 会

大谷学報 第五十二卷（昭和四十七年度）

第三号

- 『平家』と聖たち……………渡辺 貞麿
 —高野山系の説話を中心に—
- 『易行品』開設の意図について……………本多 弘之
- 「異義者」任誓伝の思想史的考察……………大桑 斉
- アメリカにおける幼児教育思想の発達……………藤 武
 —フレーベルとヘルバルトの綜合について—
- アビダルマのともしび……………桜部 建
 —第五章第二節—

第四号

- ジョイスの詩 “Tilly” ………………福永 和利
- 元朝における権臣と宣政院……………藤島 建樹
- 決定に於ける転成の道理……………小野 蓮明
- 中辺分別論の諸問題……………舟橋 尚哉
 —相品・障品・真実品を中心として—
- 書 評
- Genjun H. Sasaki: Social and Humanistic
 Life in India ………………長崎 法潤